



PRX900

S E R I E S

取扱説明書

Ver. 1.0

安全上の注意

1. 本マニュアルに記載されている全ての警告と指示に従ってください。
2. 本マニュアルはいつでも使用できるように、安全な場所に保管してください。
3. 本体を水の近くで使用しないでください。
4. 本体を水または液体の中にいれないでください。
5. 本体に直接エアゾールスプレー、クリーナー、消毒剤や殺虫剤を使用しないでください。
6. 本体の通気口をふさがないように、マニュアルの指示に従って設置してください。
7. 熱源（ラジエーター、ストーブ、他のアンプ）などの近くに設置しないでください。
8. ホコリの多い場所や直射日光が当たる場所に設置しないでください。
9. 強い振動やショックを与えないでください。
10. ノイズが発生したり誤動作の原因となるため、強い電磁場に近づけないでください。
11. 電磁波干渉によりTVやラジオなどの受信に影響を及ぼす可能性があります。十分な距離を置いて設置してください。
12. 電源コードは踏まれたり、挟まれることの無いようにしてください。
13. 電源コードを抜く際は、コードを引っ張らず、プラグ部分を持って引き抜くようにしてください。
14. 製品受領時に外部に損傷（電源ケーブル等を含む）が無いか確認してください。もし製品に損傷があった場合、ただちに販売店へ連絡してください。そのまま使用を続けた場合は、保証期間内でも保証外の対応となる場合が有ります。
15. アクセサリーやパーツは、指定のものをご使用ください。
16. 他の楽器やデバイスを接続するときは本製品を含む全ての電源をOffにして行ってください。
17. 長期間使用しない場合や落雷の恐れがあるときにはプラグを抜いてください。
18. クリーニングには柔らかく乾いた布を使用してください。
19. 電源周りのトラブルや液体をこぼしてしまった時、異物が入ってしまったとき、高い湿度にさらされた時は、販売店に相談してください。そのまま使用を続けたり、無理に自分で修理を試みないでください。
20. 地域の法律に従ってご使用ください。
21. 設置について疑問が生じた場合は、販売店に相談してください。

メンテナンスと修理

本製品は最新の電子技術と素材を使用しているため、それに応じたメンテナンスと修理を行う必要があります。機材へのダメージ、使用者の負傷を防ぐためにメンテナンス/修理はJBLの代理店にて行ってください。

本製品を使用すると高周波を発信する場合があります、設置場所および使用方法によっては、無線送信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ラジオやテレビの受信に干渉する場合は、環境に応じて使用するかどうかの判断、または以下の改善策をご検討ください。

- ・受信アンテナの方向や位置を変える
- ・装置と受信機の距離を離す
- ・受信機が接続されているものとは別の回路のコンセントに機器を接続する
- ・販売店、またはテレビ・ラジオの技術者に相談する

開梱とセットアップ

同梱物

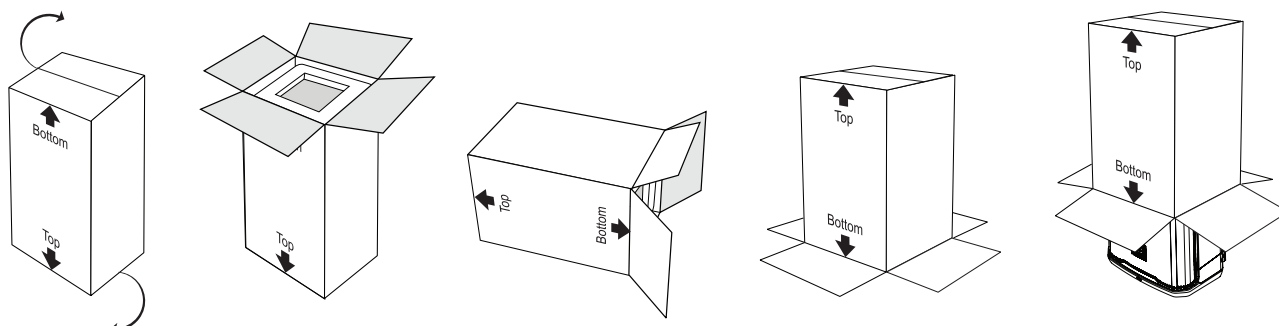
PRX900フルレンジ/サブウーファーキャビネット×1

電源ケーブル×1

クイックスタートガイド×1

開梱

- 1 箱の底面を上に向けて床に置きます。
- 2 底面を開けます。
- 3 箱を横にします。
- 4 底面を下にして箱を立てます。
- 5 ゆっくり箱を持ち上げ、スピーカーを取り出します。



- 6 付属の電源ケーブルを背面パネルの電源コネクタに挿し込みます。
- 7 電源プラグをコンセントに挿し込みます。
- 8 電源投入
- 9 電源ボタンを短く押す(0.5秒)と電源がONになりLCDディスプレイに初期画面が表示されます。

セットアップ

1. 機器の出力端子と入力端子を接続します。
2. MAIN/MENUノブをゆっくり回し、メインボリュームを上げます。
3. チャンネル・ゲインノブを回して最適な音量に設定します。

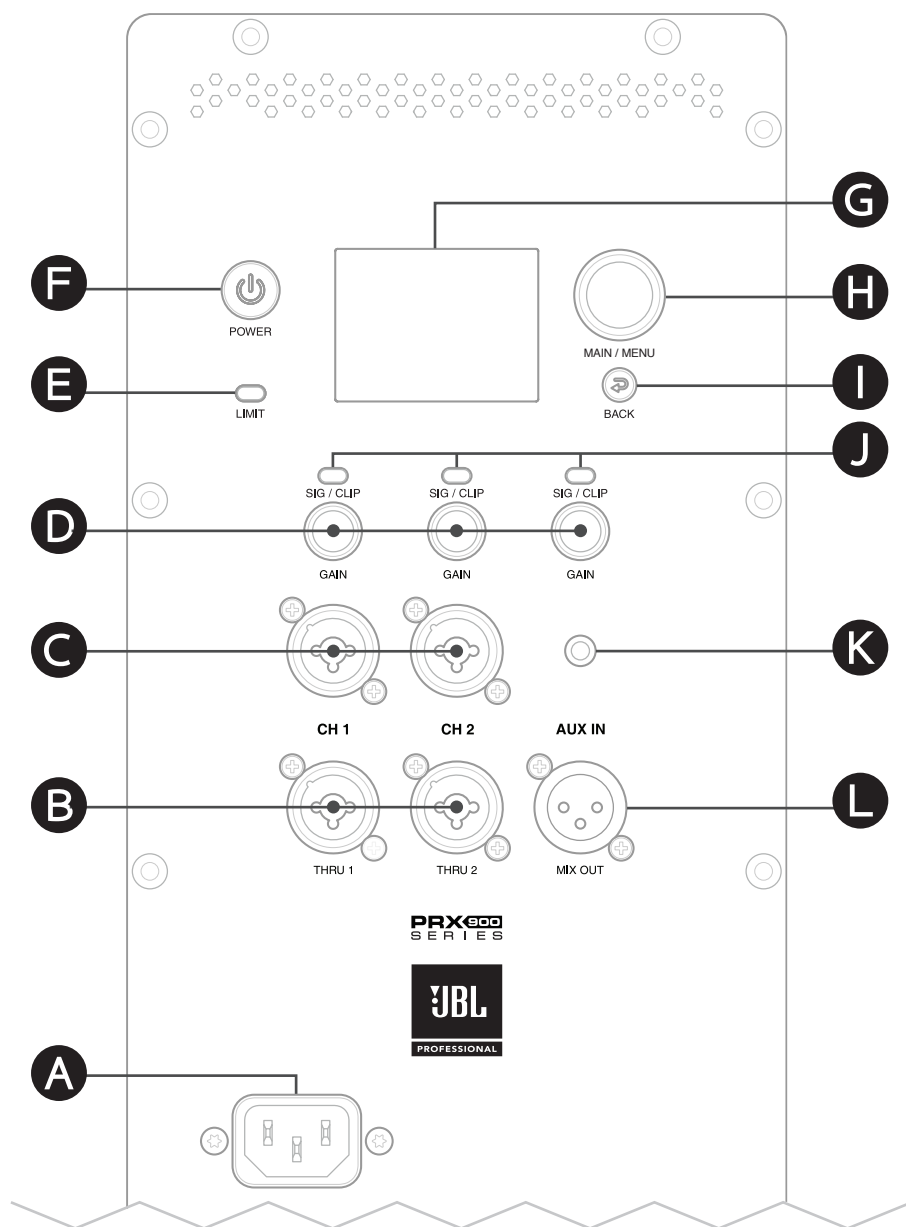
PRX900シリーズ概要

ミキシングボードは入力チャンネルの信号を取り込みミックスして出力する機能を持つとてもシンプルなデバイスです。ユーザーは入力チャンネルの信号をミックスしてトーンを調整したり、各チャンネルのリバーブレベルをセットすることができます。ミックスされた信号はアンプに送られ最後にスピーカーから出力されます。

PRX 900はミキシングボード、アンプ、スピーカーから構成されるPAシステムを内蔵していて、マイク、楽器、外部音源(MP3、CDプレーヤーなど)を接続できます。

専用アプリ「JBL Pro Connect」を使用したiPadまたはAndroid 端末からのワイヤレス・コントロールは、セットアップを素早く簡単に行うことができるだけでなく、ステージや客席などで実際の音を聴きながら調整することにより上質なPA システムを構築可能です。

各部の名称(1/2)



各部の名称(2/2)

Ⓐ電源コネクター

ⒷCH1、CH2 XLRパススルー

入力チャンネルからの信号をスルー出力します。

ⒸCH1、CH2 XLRフォン・コンボ入力

アナログ音声信号を入力します。

Ⓓチャンネルノブ

チャンネルの音量を調整します。

ⒺLIMIT LED

アンプがクリッピング状態になったとき点灯します。

ⒻPOWER

電源をON/OFFします。OFFのとき、ボタンを短く押すと電源がONになります。

ONの状態では長押しするとOFFになります。

ⒼLCDディスプレイ

基本的なシステム情報を表示し、メニューから高度な機能設定が可能です。詳細はLCD画面説明をご覧ください。LCDのリフレッシュレートは4Hzのため、レベルメーターなど、動きが速い機能の表示には適していません。

ⒽMAIN/MENUノブ

LCDディスプレイ操作

- ・ノブを1回押すとメインメニューが開きます。
- ・2秒間、長押しすると、スピーカーをミュートできます。
- ・もう一度、長押しすると、ミュートを解除できます。
- ・メニュー画面において、ノブを回すとメニューを上下にスクロールできます。
- ・ノブを押すとメニュー項目を選択できます。
- ・ホーム画面において、ノブを回すとボリュームを調整できます。

⓫BACK(キャンセル)

変更を保存せず、前のメニュー画面に戻ります。

LEDステータス

1. 信号検出

入力チャンネルに信号が入力されると、チャンネルノブの下にあるLEDが黄色に点滅します。

2. 入力チャンネルがミュートされると、LEDは赤くゆっくりと暗く点滅します。

	信号レベル	LED ステータス
信号なし		OFF
チャンネルミュート		赤くゆっくりと暗く点滅
チャンネル信号レベル	低い / 信号なし	消灯
	通常レベル	明るく緑色に点灯
	高い	明るく黄色に点灯
	クリッピング	明るく赤色に点灯

EasyNav LCD画面(1/3)

メインメニュー

MAIN/MENUノブを押すと、メインメニューが表示されます。

Gain

標準ではLINEレベルで動作しますが、GAINメニューにてゲインを上げると、直接マイクを接続できます。

- チャンネルノブを押して、そのチャンネルの Gainメニューを表示します。
- Gainメニューが表示されたら、MAIN/MENUノブを回して好みのゲインに調整します。

dbx DriveRack Output

PRX900シリーズに最適化された出力を提供します。

●AFS by dbx(自動フィードバックサプレッション)

AFSは、ハウリング周波数の自動検出と音質への影響を最小限に抑えるパラメトリックEQの組み合わせにより、トータルゲインを最大+3dBしてもフィードバックが起きないように働きます。

●フィードバックを避けるために、ステージセットアップの時は常に、AFSシステムの使用をお勧めします。マイクの設置は、以下のようにするとハウリングの発生を抑えることができます。

- ・スピーカーの前面より後方にマイクを設置します。
- ・スピーカーの左右より2メートル以上離し、マイクを設置します。

●AFS by dbx" On/Off 選択により、AFS プロセッサーのON/OFFが切り替わります。

●Reset Filters

すべてのフィルターをリセットし、フィードバックの検出を最初からやり直します。

Output EQ

信号がアンプやスピーカーに送られる前に、メインミックスのフィルター調整を行います。一般的なスピーチや音楽のスタイルに対応したプリセットが用意されています。また、出力パラメトリックEQをユーザーが詳細に調整できるCustomプリセットの読み込みも可能です。各バンドのレベル、周波数、幅「Q」を調整することができます。

●Output EQ On/Off

出力EQプロセッサーの設定をONまたはOFFにします。

●Preset

Main/Menuノブを回転させることで、Output EQのプリセットを表示、選択することができます。

・メニューを「Presets」までスクロールし、MAIN/MENUノブを押します。

・MAIN/MENUノブを回して、設定したいプリセットを表示します。

・MAIN/MENUノブを押すと、現在表示されているプリセットがロードされます。

・Customプリセットをロードし、MAIN/MENUノブをダブルクリックすると、Master EQの編集ページが表示されます。グラフ表示ページでは、MAIN/MENUノブを回して、特定のパラメトリックEQ番号を表示し、MAIN/MENUノブを押すと、ゲイン、フィルター周波数、バンド幅「Q」の編集を選択することができます。

ユーザーは、任意のプリセットをロードし、スクロールダウンして任意の設定をカスタム・プリセットとして編集することができます。

※注意：現在のカスタム・プリセット設定が削除され、現在表示されている設定に変更されます。

EasyNav LCD画面(2/3)

Limiter

マスターEQの後、マスターミックスにリミッターを提供します。リミッターは非常に大きな音を出す音源を再生する際の保護として、あるいは、マスターミックスの最も大きなダイナミクスを意図的にカットするときに使用します。

- ・ Reset

出力リミッターを工場出荷時の設定に戻すためのコマンドです。

- ・ Preset

よく使うリミッターの設定や、トラブルシューティングのための設定を呼び出すプリセットが用意されています。

- ・ 下位3つの設定のいずれかを選択すると、Customプリセットにロードされ、ユーザーが編集できます。

- ・ Threshold

アンプとスピーカーへ送る信号の最大ミックスレベルを制限するスレッシュホルドレベルを設定できます。これを超えるダイナミックレンジは、スレッシュホルドの最大設定値以内に制限されます。

- ・ OverEasy

信号がスレッシュホルドレベルに到達する際の変化がスムーズになります。OverEasyは、ロックバレードやトークコーナーなどでよく選択されます。ハードロックやDJスタイルの音楽ではOverEasyをオフにして使用されます。

- ・ Makeup Gain

リミッターを解除します。

※注意

大音量のミックスに対してMakeup Gainを使用すると、必要なミックスゲインレベルを超えることがあります。この設定は、熟練したオーディオの専門家のみが使用することをお勧めします。リミッターを調整するときは、小さな信号に対して行ってください。

Bass Boost

システムに80Hzで3dBの低音を追加します。

- ・ Bass Boost On/Off

ベースブースト機能をON/OFFします。

Mix Out XLR

Mix Outから追加のスピーカーにミックスを送るときに、信号を送るスピーカーの種類をプリセットに設定します。

- ・ Mix Out On/Off

Mix Out出力をONまたはOFFします。

- ・ Preset

Mix Out出力と3種類のスピーカーとの組み合わせを選択することができます。

- ・ Full Range

他のフルレンジスピーカーに信号を送ります。

- ・ Sub

低域を分離し、その信号をMix Out出力に送るための設定です。内蔵アンプ/スピーカーに送られる信号はHPF（ハイパスフィルター）を通るように設定され、80Hz以上のみが通過します。Mix Out出力には80Hz未満のミックス信号のみが通過します。

- ・ Custom

ユーザーが手動で設定できます。

- ・ HPF on this Speaker

内蔵アンプ/スピーカーに送る信号のうち、選択した周波数以下の信号を除去します。

- ・ LFP on Mix Out

Mix Out出力に対してローパスフィルターを設定します。

EasyNav LCD画面(3/3)

Time Align

複数のスピーカーを使用し、スピーカーと客席の距離が異なる場合にスピーカーからのサウンドの到達時間の調整のために使用します。

●例

- ・ ステージ前方にサブウーファー、ステージ上にフルレンジスピーカーを設置。この構成では、Mix Outサブウーファーは、客席に近い位置にあるため、若干の遅延が必要です。
- ・ Mixout出力が、客席後方に設置されたフルレンジスピーカーに供給されるとき、正しいディレイ補正を行う必要があります。

●ディレイ補正の基本。

- ・ 客席から最も遠いスピーカーやその他のスピーカーに対してディレイをかけて「時間合わせ」します。

・ 音は、平均的な湿度と室温で、1msあたり約0.3メートルの速度で空気中を伝わります。まず客席から各スピーカーまでの距離を測定します。客席に近いスピーカーには、最も遠いスピーカーとの距離に応じてディレイを設定します。バックスピーカーからの距離の差を測定し、各スピーカーは、0.3メートルごとに1msのディレイを入力します。

・ 「Delay Mix Out」

PRX900シリーズのMix Out出力にオーディオ信号のディレイを配置する機能です。最大で20msの信号遅延を100マイクロ秒単位で調整可能です。

・ 「Delay This Speaker」

スピーカーのメイン出力に最大180msの信号遅延を100マイクロ秒間隔で設定します。

設定

BT Control Pairing

JBL Pro Controlアプリで最大30秒間 Bluetoothのペアリングを行います。ペアリングが完了したとき、または30秒後にオフになります。

PIN

アプリにログインするとき、パスワードPINを確認します。BLEコントロールのペアリングを確実に行うために、この確認をしてください。

LCD Contrast

LCD画面のコントラストを0～100%の間で調整することができます。

Firmware Version

現在のファームウェアのバージョンを表示します。

Factory Reset

Bluetooth通信のペアリングを含め、スピーカーのすべての設定を工場出荷時の状態に戻します。

System lock

すべてのハードウェアの操作をロックします。

・ システムロックを開始するには、POWERボタンとBACKボタンを長押しします。すべてのLEDが点滅し、LCDの左上にLOCKアイコンが表示されます。または、設定メニューの「System lock」フィールドに移動し、「CONFIRM」を選択します。

・ システムロックを解除するには、POWERボタンとBACKボタンを押し続けます。すべてのLEDが点滅し、左上隅からロックアイコンが消えます。または、電源を切り、システムを再起動してください。

JBL Pro Connect

JBL Pro Connectアプリは、PRX900内の機能をリモートコントロールするために使用されるBluetooth Low Energyコントロール・アプリケーションです。このアプリは、iOSおよびAndroidにて無料でダウンロードできます。

アプリをダウンロードし、本体を最新のファームウェアで動作させることをお勧めします。

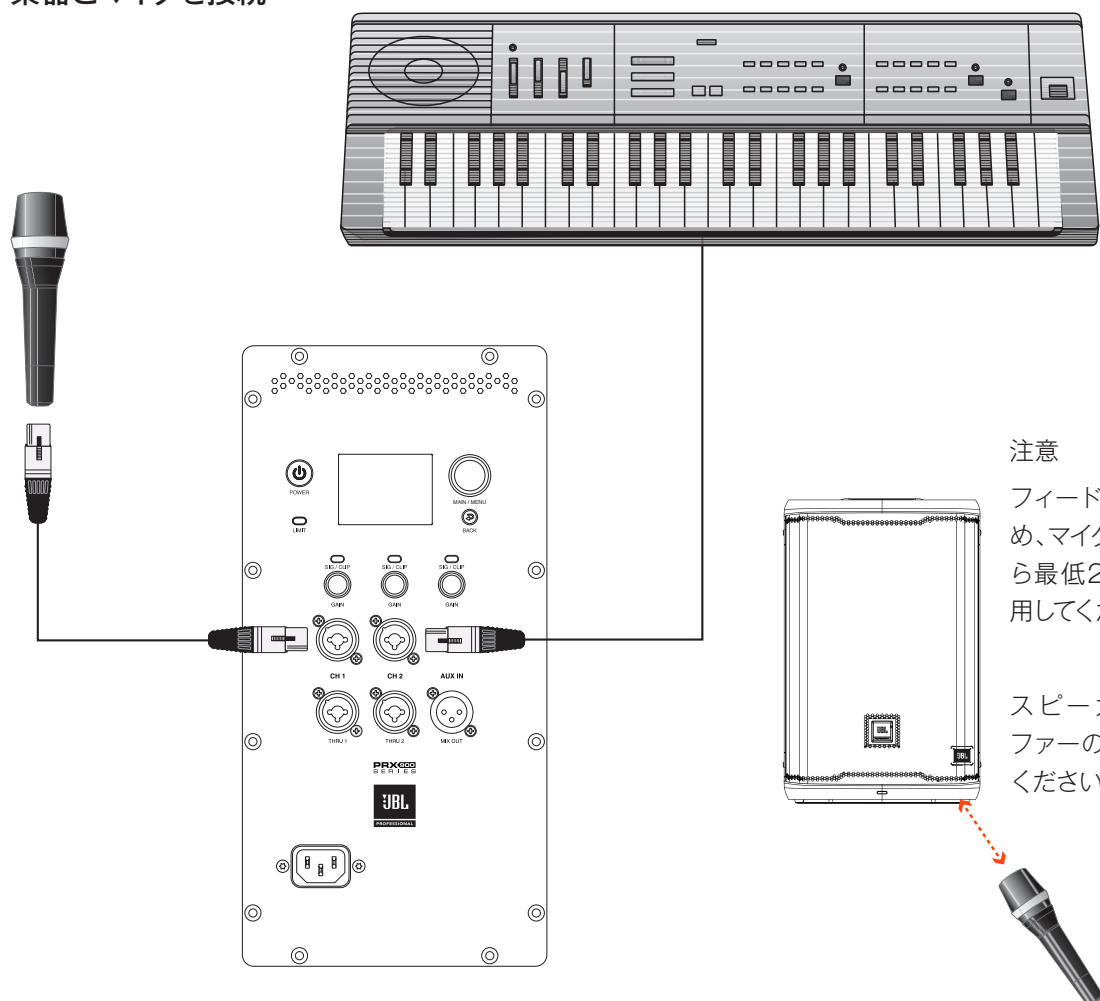
PRX900のファームウェアアップデート中に問題が発生した場合は、スピーカーから電源コードを抜いて、60秒待ち、電源コードを再び挿入します。スピーカーは自動的に電源が入った状態に戻ります。LCDとJBL Pro Connectアプリの指示に従って、ファームウェアの更新を再開します。

ファームウェアのアップデート中は、デバイスのBluetoothをオフにしたり、JBL Pro Connectアプリから他のアプリに移動したり、Bluetoothの通信範囲から外れないことをお勧めします。



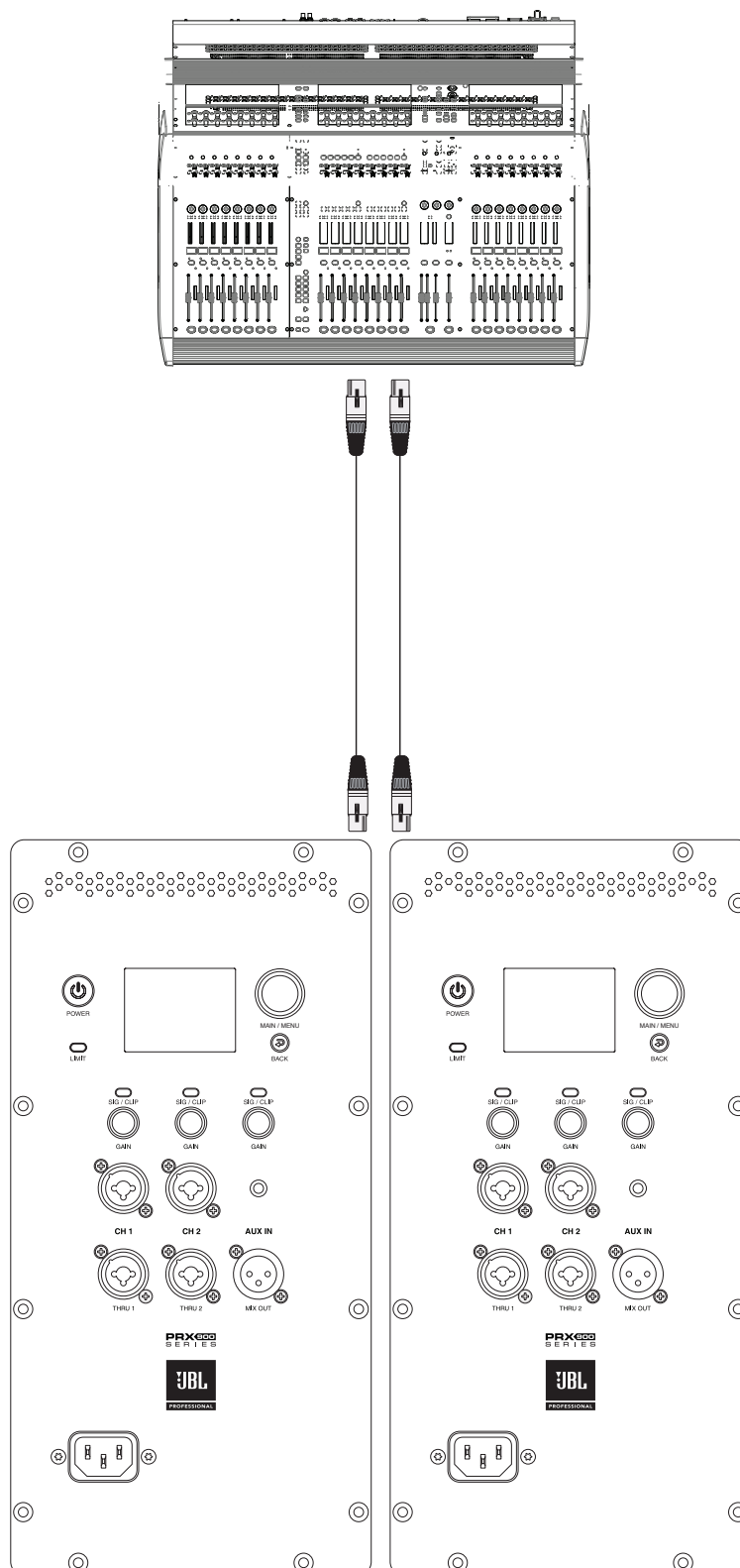
接続例1

楽器とマイクを接続



接続例2

メインスピーカーとして2台使用



スペック

モデル	PRX908	PRX912	PRX915
システムタイプ	8インチ・パワードスピーカー	12インチ・パワードスピーカー	15インチ・パワードスピーカー
ウーファーモデル	908G	912 G	915 G
ウーファーサイズ	8 インチ	12 インチ	15 インチ
ウーファーマグネット	フェライト	フェライト	フェライト
ウーファーボイスコイル	2.4 インチ	2.5 インチ	2.5 インチ
ツイーターモデル	2408H-2	2408H-2	2408H-2
ツイーターサイズ	1.5 インチ	1.5 インチ	1.5 インチ
ツイーターマグネット	ネオジム	ネオジム	ネオジム
インピーダンス	ウーファー:4Ω ツイーター:8Ω	ウーファー:4Ω ツイーター:8Ω	ウーファー:4Ω ツイーター:6Ω
最大音圧レベル	126 dB	132 dB	133 dB
周波数特性 (-10dB)	55 Hz~20 kHz	50 Hz~20 kHz	48 Hz~19 kHz
周波数特性 (±3dB)	65 Hz~15 kHz	65 Hz~17 kHz	60 Hz~16 kHz
指向角度 (水平×垂直)	105度×60度	90度×50度	90度×50度
定格出力	2,000 W(ピーク)	2,000 W(ピーク)	2,000 W(ピーク)
電源	AC100~230V、50/60Hz	AC100~230V、50/60Hz	AC100~230V、50/60Hz
冷却方式	自然冷却(ファンレス)	自然冷却(ファンレス)	自然冷却(ファンレス)
LED インジケーター	入力レベル×3、リミット×1	入力レベル×3、リミット×1	入力レベル×3、リミット×1
入力インピーダンス	100 kΩ (バランス)	100 kΩ (バランス)	100 kΩ (バランス)
入力ゲイン	0~36dB、0~12 db(AUX)	0~36dB、0~12 db(AUX)	0~36dB、0~12 db(AUX)
クロスオーバー周波数	1,930 Hz	2,050 Hz	1,920 Hz
入力	XLR/フォン・コンボ入力×2、 3.5mmステレオミニ×1	XLR/フォン・コンボ入力×2、 3.5mmステレオミニ×1	XLR/フォン・コンボ入力×2、 3.5mmステレオミニ×1
出力	XLRスルー×2、MIX×1	XLRスルー×2、MIX×1	XLRスルー×2、MIX×1
エンクロージャー	ポリプロピレン+10%タルク	ポリプロピレン+10%タルク	ポリプロピレン+10%タルク
グリル	パウダーコートスチール(厚さ1.2mm)	パウダーコートスチール(厚さ1.2mm)	パウダーコートスチール(厚さ1.2mm)
吊り / ポールマウント	36mmボールソケット×2、 M10サスペンション・ポイント×6	36mmボールソケット×2、 M10サスペンション・ポイント×6	36mmボールソケット×2、 M10サスペンション・ポイント×6
ハンドル	トップ×1	トップ×1、サイド×1	トップ×1、サイド×1
質量	13.7 kg	19.5 kg	24.1 kg
梱包重量	16.5 kg	23.5 kg	28.7 kg
寸法(H×W×Dmm)	479×312×285	636×394×332	717×465×383
梱包寸法(H×W×Dmm)	515×424×397	668×506×444	749×574×495

スペック

モデル	PRX915XLF	PRX918XLF
システムタイプ	15インチ・パワードサブウーファー	18インチ・パワードサブウーファー
ウーファーモデル	915 SG	918 SG
ウーファーサイズ	15 インチ	18 インチ
ウーファーマグネット	フェライト	フェライト
ウーファーボイスコイル	3 インチ	4 インチ
インピーダンス	ウーファー:4 Ω	ウーファー:4 Ω
最大音圧レベル	131 dB @1m/2Pi	134 dB @1m/2Pi
周波数特性 (-10dB)	36 Hz~98 Hz (2Pi)	30 Hz~110 Hz (2Pi)
周波数特性 (± 3 dB)	40 Hz~87 Hz (2Pi)	35 Hz~92 Hz (2Pi)
指向角度 (水平、垂直)	無指向性	無指向性
クロスオーバー	80 Hz, 100 Hz, 120 Hz選択可能	80 Hz, 100 Hz, 120 Hz選択可能
定格出力	2,000 W(ピーク)	2,000 W(ピーク)
電源	AC 100~230 V、50/60 Hz	AC 100~230 V、50/60 Hz
冷却方式	自然冷却(ファンレス)	自然冷却(ファンレス)
LED インジケーター	入力レベル×2、リミット×1	入力レベル×2、リミット×1
入カインピーダンス	100 k Ω (バランス)	100 k Ω (バランス)
入力ゲイン	0~12 dB	0~12 dB
入力	XLR/フォン・コンボ入力×2	XLR/フォン・コンボ入力×2
出力	XLRスルー×2	XLRスルー×2
エンクロージャー	18 mm合板+デュラフレックス	18 mm合板+デュラフレックス
グリル	パウダーコートスチール(厚さ1.5mm)	パウダーコートスチール(厚さ1.5mm)
ポールマウント	ポールマウント用ソケット付き	ポールマウント用ソケット付き
ハンドル	サイド×2	サイド×2
質量	28.6 kg	40.7 kg
梱包重量	33.6 kg	47.5 kg
寸法(H×W×Dmm)	549×480×580	693×591×654
梱包寸法(H×W×Dmm)	593×593×688	737×703×765